

科目名	社会探究α	単位数	2	必修選択	必修
教科書					
副教材	ニュース検定時事力基礎編 3・4級(毎日新聞社) ニュービジョン現社(浜島書店) *1年次購入済み				

教科・科目の内容

現代は「知識基盤社会」であるといわれています。そのような社会では、思考力や判断力、そして、これまで身に付けてきた知識や技能を活用する力が重要です。この科目では、既習事項の徹底した修得や更なる深化を図るだけでなく、社会科学分野のテーマについての学習を通して、物事に対する多様な思考方法を習得し、実社会における課題解決能力を身に付けることを目的にしています。

1学期ではニュース検定時事力基礎編3・4級の問題集を使いながら、徹底して修得すべき基礎的な事項から時事力を付け、2学期には、その時事力と1年次に履修した「現代社会」の既習範囲の中から、身の回りの問題を取り上げ深い考察をし、課題解決的な学習をします。

日常生活や将来とのつながり

大きな社会環境の変化により、職業生活を送るうえでは「基礎学力」、「専門知識」に加えて、それらを活用するための「社会人基礎力」(「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」)が求められています。

既習事項の徹底した修得によって「基礎学力」を身につけ、それらの知識や技能を活用して様々な課題に取り組むことで「考え抜く力」を高めることで、変化の激しいこれからの社会で求められる力が身につけ、自分自身の可能性が広がります。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

- ・新聞を読む、ニュースを見るなど、社会の出来事に関心を持つ。
- ・社会の問題点について、いろいろな人の考えを知り、自分なりの考えを持つ。

到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

評価の観点(評価方法)

①関心・意欲・態度(行動観察・ワークシート・小論文・振り返りシート)

現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。

②思考・判断・表現(行動観察・ワークシート・振り返りシート・定期試験)

現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

③資料活用の技能(ワークシート・小論文)

現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。

④知識・理解(定期試験)

現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
2年	社会探究α	2		ニュース検定時事力基礎編3・4級(毎日新聞社) ニュービジョン現社(浜島書店)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一学期	第1章 時事問題 ①私たちの民主主義 ②日本国憲法の明日 ③外交と安全保障の課題 ④地方自治の未来 ⑤経済回復問われる舵取り ⑥変わる産業 ⑦行き先不透明な世界経済⑧これからのエネルギー ⑨人口減少の先にあるもの⑩社会保障今とこれから ⑪働くこと、消費すること ⑫共生社会への道のり ⑬裁判所と社会の変化 ⑭情報社会に生きる ⑮いのちの現場から ⑯豪雨被害と震災10年 ⑰地球環境を守るために ⑱アメリカと中国の行方 ⑲流動化する世界 ⑳平和な世界いつ ※ 期末試験・ワークシート点検	・基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせる ・議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせる。 ・民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。	○	○	○	○
	○	○		○		
二学期	第2章 現代社会の課題研究 ①自分の考えを確実に伝える文章を書く方法 ※ ワークシート点検	・要約の方法と論理的な文章の書き方を身につけさせる。 ・クイズ文形式の小論文の構成を理解させ、身につけさせる。	○	○	○	○
	○	○	○	○		
三学期	第3章 地歴研究 日本史の研究 世界史の研究 ※ 学年末試験	・グローバル化が進展する国際社会における歴史に触れながら、国際社会における貧困や格差について理解させる。 ・国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。	○	○	○	○
	○	○		○		

備考	・3学期は、3年次の地歴選択に分かれ学習する。
----	-------------------------